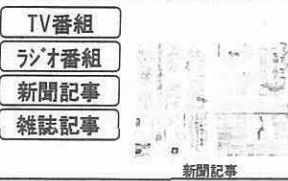


2.2.1.啓発活動分析のフレームワーク

図表.2.2.1. 啓発活動分析のフレームワーク

プロセス		認知	理解	行動
タッチポイント		「がん検診」の存在に気づく	認知した「がん検診」へ関心を持ち、その重要性が分かる	理解した「がん検診」を受診することを決める
メディア	マスメディア 広く公共に影響力を持つ メディア (例) TV、新聞、ラジオ、雑誌、等	TVCM 新聞広告 	TV番組 ラジオ番組 新聞記事 雑誌記事 	
	ニューメディア 双方向性、内容の多様性を志向する メディア (例) PC、携帯電話	Webサイト (広告) メール 告知画像・動画、 パナー等 	Webサイト (記事、ブログ) メール (啓発コンテンツ配信) -検診機関の 空き状況 -自己検診方法 の提示 	
	リアルメディア 特定の情報の受け手に対し、直 接働きかけるメディア (例) 小冊子、イベント、講演/授業、 店頭、商品・サービス 屋外広告、 友人・知人等	ポスター 小冊子 店頭POP 商品・サービス 街頭・交通 友人・知人 	イベント 講演/授業 -セミナー、シンポジウム 	検診機関 

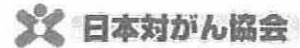
2.2.2.「国立がんセンター」の取組み全体像(一次分析)



国立がんセンター

プロセス	認知	理解	行動	がん検診受診啓発の特徴
メディア	TV、新聞、 ラジオ、雑誌、 フリーペーパー 等 			がんに関する 知見の蓄積・ 情報管理
ニューメディア	PC、携帯、 AV機器等 	<ul style="list-style-type: none"> がんに関する情報の収集/活用 -各種機関との連携による知見集約 -webサイトをがんに関するポータルサイトとして提供 	<ul style="list-style-type: none"> 検診情報の発信 -検診機関、センター内検診機関の空き枠状況等の情報を発信 	主なキャンペーン期間 —
リアルメディア	友人・知人、 小冊子、 屋外広告、 イベント、店頭、 検診機関等 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼性の高い機関としての 情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 参加型イベント -セミナー、講演会、公開講座の開催 	連携先 都道府県、医師会、 病院など

2.2.3. 「日本対がん協会」の取組み全体像(一次分析)



プロセス	認知	理解	行動	がん検診受診啓発の特徴
マスメディア TV、新聞、ラジオ、雑誌、フリーペーパー等	メディアによる広範な訴求 - 公共広告機構CM(TV、ラジオ、新聞、雑誌) 	本部、支部各々のチャネルでのアプローチ - 本部や全国41支部による情報発信 		地域に密着した認知・理解の促進 主なキャンペーン期間 【9月】 がん征圧月間 連携先 市町村、財団法人、医師会、企業など
ニューメディア PC、携帯、AV機器等		- 本部、支部Webサイトによる情報発信 		
リアルメディア 友人・知人、小冊子、屋外広告、イベント、店頭、検診機関等	ポスター・書籍・グッズ・小冊子等 	全国大会、セミナー、シンポジウム、公開講座の開催 	検診車の配備 - 全国46道府県の支部のうち41支部で検診を実施 - 検診車全国923台(平成17年度末現在) 	

(参照)日本対がん協会へのリンクおよび同協会Webサイト

2.2.4. 「ピンクリボン」の取組み全体像(一次分析)



プロセス	認知	理解	行動	がん検診受診啓発の特徴
マスメディア TV、新聞、ラジオ、雑誌、フリーペーパー等	多様なメディアの活用 - 新聞広告 京都新聞朝刊 (2007/10/1)	統一されたブランディング		多様なメディアと統一されたブランディングによる訴求 主なキャンペーン期間 【10月】 乳がん月間 連携先 各種団体、各種業界企業(医薬/保険、メディア、製造、不動産業界など)
ニューメディア PC、携帯、AV機器等	Web上の連携 - 様々なポータルサイトとのリンク 	コミュニティの活性化 - 公式ポータルでのブログ運営など 	生活者視点の提案型メニュー - 自己診断の習慣化を促進 	
リアルメディア 友人・知人、小冊子、屋外広告、イベント、店頭、検診機関等	交通広告や街頭広告など多様なプロモーション 	参加・体験型イベント - 生活者による参加型イベントの開催 Festival ピンクリボンフェスティバル 		

ピンクリボンの周知状況:
 平均68.7%※1

イベント後に検診の必要性を感じた人の割合:
 65.8%※2

(出典)※1:「ピンクリボン活動みやぎ2005」の取り組みについてより、一般市民、賛助企業・団体内、賛助内での平均周知状況
 ※2:2007ピンクリボンフェスティバル報告書(朝日新聞社)より、「検診を受けに行った」「近々、検診予定」「検診の必要性のみ感じた」の合計